

(1) 学校の概要

当校では以下の校訓、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの校訓、教育方針、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【校訓】

S I N C E R I T Y 誠実

P A S S I O N 情熱

C R E A T I O N 創造

【教育方針】

ファッションビジネス分野における「創造力」と「実践的技術」を養成します。

豊かな人間性を持ち国際感覚を備えた社会人を養成します。

人間愛に富み情熱をもって行動する人間を養成します。

【教育目標】

「ファッション・ビジネス分野における知識と技術の修得」

「企業人としての基本的素養」

「広い視野と人間性」の3要素を併せ持つ人材を養成します。

校長名 土田 一郎

住所・連絡先

〒951-8063

新潟県新潟市中央区古町通7番町935 NSG スクエア内3F

TEL 025-226-6601 FAX 025-226-6602

E-mail nitf@nsg.gr.jp

学校の沿革・歴史

1945年 岩崎服装学院を創設

1948年 新潟県認可校となる

1952年 岩崎文化服装学院に校名変更

1957年 学校法人岩崎学印として認可をうける

1976年 岩崎服装専門学校に校名変更

1990年 学校法人国際総合学園 新潟ファッションビジネス専門学校に校名変更
イタリアのインスティテュート・セコリ校と姉妹校提携を結ぶ

1992年 フランスのパリ・グラン・テレアカデミー校と姉妹校提携を結ぶ

台湾のスーチェン大学ファッションデザイン科と姉妹校提携を結ぶ

アメリカのFIDM(The Fashion Institute of Design&Merchandising)

と姉妹校提携を結ぶ

イギリスのマリーレッコ・スクール・オブ・ファッション校と姉妹校

提携を結ぶ

第1回 国際ファッションショー開催 (参加: 香港・韓国)

1993年 第2回 国際ファッションショー開催 (参加: アメリカ)

- 1994年 インターナショナルファッションショー94'開催
(参加：イタリア・台湾・香港・韓国)
- 1995年 インターナショナルファッションショー95'開催
(参加：アメリカ)
- 1996年 ロシアウラジオストク州立経済大学と姉妹校提携を結ぶ
- 1997年 インターナショナルファッションショー97'開催
(参加：ロシア)
- 1998年 98'NITF COLLECTION 開催
フランスのジャン=ピエール・フリーリモン・メイク校と姉妹校提携を結ぶ
- 1999年 99'NITF INTERNATIONAL FASHION SHOW を開催
(参加：ロシア)
- 2000年 新潟市古町通 6 番町に 9 階建ての新校舎完成
- 2003年 文部科学省委託事業産学連携によるニット産業インターンシップ開発プログラム成果発表会開催 ラフォーレ原宿新潟にて商品化
- 2004年 国際トータルファッション専門学校に校名変更
- 2005年 文部科学省委託事業ファッションマーチャンダイジング授業開発・実践プロジェクト成果発表会開催
- 2009年 第 16 回浜松シティーファッションコンペ グランプリ受賞
- 2011年 新潟市中央区古町通 7-935 NSG スクエア 3F に校舎移転
パリ OLIVIER GERVAL FASHION&DESIGN INSTITUTE 校と姉妹校提携を結ぶ

学校の特色教育活動

教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で学科主任を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
実践的な職業教育として、企業と連携したインターンシップ等や企業連携した授業を全学科で行っている。

(2) 各学科等の教育

定員数

ファッションデザイン科	修業年限 3 年	定員 30 名
ブライダル・コスチュームデザイン科	修業年限 2 年	定員 20 名
ファッションビジネス科	修業年限 2 年	定員 20 名
ファッションプロデュース科	修業年限 2 年	定員 20 名
スタイリスト科	修業年限 2 年	定員 30 名
国際ファッションビジネス科	修業年限 2 年	定員 20 名
アパレルニット科	修業年限 2 年	定員 15 名
ファッション専攻科	修業年限 1 年	定員 15 名

進級・卒業の要件等

(成績評価基準・卒業・修了の認定基準)

卒業・進級基準

- A:出席率が年間授業時間数の 80%以上になること
- B:各学科の定める単位数の習得をすること
- C:制作課題の規定基準を充たすこと
- D:該当年次の学費及び諸経費を完納すること

上記 A~D を充たせない者は、学校長の判断により卒業・進級判定試験が設定されます。この試験結果が合格基準に達しない場合は卒業・進級保留となります。

成績評価

成績評価は原則として各科目別で行われ、その終了時に評価を行います。

成績評価は平素の授業態度、テスト、出席率、課題評価を科目終了時の考査等の資料を基に行います。算出方法は下記の通りです。

A:成績評価は ABCD の 4 段階とします

B:科目評価は科目終了時に試験、レポート、課題提出等で評価します。

評価基準は以下の通りです 100 点満点換算で次の基準を目安とします。

A(100~80 点) B(79~70) C(69~60) D(59~0)

考査基準

科目終了時に、その科目の出席を集計し 80%以上の出席率に達しない者、および通常提出課題が 100%提出されていない者は卒業・進級対象になりません。成績いかに関わらず D 評価となり、学力評価試験を受験しなければなりません。

学習の成果として取得を目指す資格・検定

色彩技能パーソナルカラー検定

色彩検定

販売士検定

ファッション販売能力検定

ファッションビジネス能力検定

Word 文書処理技能認定試験

Excel 表計算処理技能検定試験

パターンメイキング技術検定試験

県専修学校各種学校協会洋裁技術検定

県専修学校各種学校協会教員認定

日本ファッション教育振興協会洋裁技術検定

サービス接遇実務検定

コミュニケーション検定

メイクセラピー検定

ネットマーケティング検定

各種ファッションデザインコンテスト

(3) 教員数・教員の組織について

本校に次の教職員を置く

1. 校長 1名
2. 副校長 1名
3. 専任教員 5名
4. 兼任講師 7名
5. 事務職員 2名

校長は、校務をつかさどり、所属教職員を監督する。

副校長は校長を補佐し、校長に事故があるとき、又は校長が欠けたときは、副校長がその職務を代理し、又はその職務を行う。

(4) 就職支援等への取り組みについて

就職部長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。

キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。

進路・就職相談について、主に担任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、就職部長を設置しており、進路・就職相談のみならず、必要に応じて個別面談等を実施している。

年2回(7月・3月)に担任との3者面談を実施している。就職指導への取り組みや進路面談での学生の進路について保護者との連携を図っている。

(5) 様々な教育活動・教育環境

【教育環境】

学内に販売実習施設やディスプレイルーム・コーディネートルーム・縫製実習室などを完備している。

法人が所有する研修施設において、新入生オリエンテーション、就職研修を宿泊研修として実施している。

【企業との連携による取組】

当校では教育目標の達成のために海外研修を必修科目としており海外研修ともに受入先と独自の商品バイイング実習や海外有名ブランド見学など連携し研修が進められるよう教育体制が整備されている。

百貨店での学生作品販売・歌手などの衣装制作・地元企業との協同開発による製品制作など企業との取組みを行っている。

【地域】

明和義人祭衣装のデザイン・製作をボランティアにて製作し地域貢献を行った。

足の不自由な方向けの医療用ロボットパンツのデザインを担当

(6) 学生の生活支援

法人独自の奨学金制度

詳細については <http://mydreams.jp/scholarship.html> を参照

(7) 学生納付金・修学支援

【学費一覧】別紙PDF参照

【入学手続・学費納入方法】別紙PDF参照

(8) 学校の財務

ホームページ情報公開にて詳細を公開

(9) 学校評価

自己評価・学校関係者評価の結果についてホームページ情報公開にて詳細を公開